

宮島包ヶ浦自然公園の利活用検討の 今後の進め方について

ちょうどいい、みつけた。



はつかいちし

第3回協議会(R6.6.13開催)の振り返り

○議題

- 協議会での意見等を踏まえた市の見直し案・方向性について

○議事要旨

- 市の説明 「宮島包ヶ浦自然公園の利活用の考え方（案）」

- 質疑・回答

- その他意見交換等

✓ この度の市の案では、

・ 将来の包ヶ浦自然公園の具体的な姿が見えない。

・ ゾーニングについても、エリアを区分することで、宿泊施設エリアは、市民が一切立ち入ることができなくなるエリアと受け止められる懸念がある。

✓ 今後の対応として、

・ 公園全体の将来の姿や利活用イメージを示す必要があること。

・ 「共有ゾーン」といった区域を想定するなど、各エリアのゾーニング・機能(活用等)などを再検討する。

○次回開催日程等

- 令和6年7月19日（金）午前（場所：宮島包ヶ浦自然公園）

・ 現地確認も踏まえつつ、公園全体の利活用のあり方を協議する。

議員全員協議会(R6.6.24開催)説明資料(※抜粋)

宮島包ヶ浦自然公園の利活用方針の策定について

- 包ヶ浦自然公園全体の利活用のあり方を踏まえた「宮島包ヶ浦自然公園利活用方針」を策定する。

◎策定の進め方（案）

包ヶ浦自然公園に関する基礎的情報を整理し、協議会で意見のあった公園全体の将来の姿や利活用イメージを検討していく。

① 基本事項の整理

- ・本市の計画上の位置付け、国立公園を巡る動向をはじめ、現施設の現状や課題、包ヶ浦自然公園に係る法規制などの基礎的情報を体系的に整理

② 利活用方針（案）の策定

- ・上記①を踏まえ、公園全体の将来の目指すべき方向性や、利活用のイメージやゾーニングの考え方などについて整理



策定に当たっては、幅広い意見を集約するため、協議会メンバー以外の参画の方法等について、協議会で議論し、決定する。

利活用検討の今後の体制及び進め方について(協議)

■主な論点

- ✓ 協議会メンバー以外の参画方法の考え方
- ✓ 協議会との位置付け及び役割の考え方
- ✓ 利活用方針（案）の策定に向けた今後の協議の進め方